

2022-23年度 創立57周年
クラブ週報

Rotary



東京城東ロータリークラブ

会長 篠田 秀樹

2022. 10. 3 第2558回例会

『回一タリーに 元気に集い
楽しく語らい 笑顔で働く』

国際ロータリー会長
ジェニファー E. ジョーンズ
第2580地区 ガバナー
嶋村文男
第2580地区代表副幹事
小林康徳
ガバナー補佐(当クラブ担当)
大澤栄一



例会日：毎週月曜日 12:30～13:30

例会場：東武ホテルレバント東京

〒130-0013 墨田区錦糸 1-2-2 Tel:03-5611-5511

事務局：〒130-0013 墨田区錦糸 1-1-5 A ビル

Tel:03-5637-4605 Fax:03-5637-4611

E-mail: jyoto@club.email.ne.jp

会長：篠田 秀樹 副会長：秦 弘志

幹事：村上 慎吾 副幹事：小山 敦志

会報委員長：三浦 功雄



2022/9/26(月)
「第2回クラブフォーラム」
【社会・青少年奉仕担当】

2022年9月26日 例会報告

点鐘

ロータリーソング(清聴)	『それでこそロータリー』
ゲストスピーカー	0名
ゲスト及びビジター	1名
会員出席状況	35名中28名(出席率80.00%) 【会場26名・オンライン2名】

本日の卓話

「ガバナー補佐訪問」

東分区担当ガバナー補佐
大澤栄一様

ニコニコボックス

○クラブフォーラムよろしくお願ひ致します。

篠田秀樹君・村上慎吾君・秦弘志君
小山敦志君・奈良康司君・丸山智正君
大澤悦子君・今井邦彦君・積田喜一君
山田昇君・青木桂三君・山口幸一君
中村浩紹君・池永憲明君

○事務所開所のお花ありがとうございました。

杉田敬光君

○ゴルフコンペ優勝させて頂きました。秦弘志君

渡辺孝至君

○早いもので今年も残り 100 日を切りました。

佐野一信君

○結婚記念日祝を頂いて。

浅見真君

小計￥70,000.- 累計￥473,000.-

- 10月受付当番 -

竹越君/秦君/丸山君

※次週 10/10(月)は「祝日(敬老の日)」のため、
次々週 10/17(月)は「特別休会」のため例会はございません。

次回の卓話(10/24)

「ガバナー公式訪問」

第2580地区ガバナー
下村文男様

会員皆様よりのご投稿を随時募集しています！

Tokyo-Jyoto Rotary Club 2022-2023

— 10月お祝 —

出席祝
石川君

会員誕生祝
山田君

パートナー誕生祝
岡本君、村上君
上條君、竹越君

結婚記念日祝
岡本君、中村君
田島君、杉田君

皆様、おめでとうございます！

○10月の行事予定【クールビズ月間】

10月 5日(月) 大澤ガバナー補佐訪問

11:00～ 第2回クラブ協議会
12:30～ ガバナー補佐卓話
13:30～ 第4回理事役員会

10月 12日(月) 祝日（体育の日）

10月 17日(月) 特別休会
東分区懇親ゴルフ大会
(大栄カントリー倶楽部)

10月 23日(日) 第2580地区世界ポリオデー①
10:00～ 錦糸町席前募金活動

10月 24日(月) 嶋村ガバナー公式訪問
10:30～ 会長幹事懇談会
12:30～ ガバナー卓話
13:40～ 公式訪問フォーラム
第2580地区世界ポリオデー②
15:30～ 映画上映会
18:00～ 食事会



R | ニュース：2022. 9. 19



ポーランドのロータリー会員がウクライナ難民に安全な住まいを提供

2022年3月、ロシアがウクライナへの侵攻を開始した直後のこと、ポーランド東部の都市ルブリンから30km少々離れた町ヴォイチエフの家に、難民が続々と集まりました。Lublin-Centrum-Maria Curie-Sklodowska ロータリークラブの会員であるヤヌス・ミラノフスキーさんと妻のカタジナ・スミギン=ミラノフスキさんは、ウクライナからの何千人もの難民が滞在場所を必要としているため、夫妻は代わりに彼らにこの家を開放しました。

ナタリア・プロクホールさんは3月上旬にポーランドに到着しました。彼女は、救援機関の支援を受けた聴覚障害者のウクライナ人17人のうちの一人で、ほかの難民たち（合計29人）と一緒にこの家に住むことになりました。

この避難民の家では、訓練を受けた通訳がウクライナの手話からポーランドの手話に通訳することもあります。通訳がいないときは、オンライン翻訳機を使用します。「よく話をするんですよ」とミラノフスキさんは話します。

4月には、難民とロータリー会員がこの家に集まり、イースターを祝いました。手話で話しながら、食べ物やその他のお祝いの品をテーブルに並べました。ポーランドを表す赤と白、ウクライナを表す青と黄色に色付けされた卵が飾されました。ウクライナにいる親戚には食料も水も電気もない人もいるため、それらの人たちとの連帯感から、伝統的なイースターのお祝いに比べると控えめなお祝いにしました。難民が到着する前に、ロータリークラブ会員がこの家を整え、それからも資金集めと日々の運営を続けています。また、同クラブは、国境を越えて援助を送り、ロータリー第7870地区（米国ニューハンプシャー州とバーモント州）と協力して、31万7千ドル相当の医療器具をウクライナの野戦病院に寄贈しました。

